

1、目的

子どもを保育所や幼稚園に預けるとき、まず居住地の保育施設の情報を自治体のホームページや問い合わせなどで調べるでしょう。もし条件が合わないときは、近隣地域の情報も必要となるし、駅・職場の近くなど都合の良い施設の状況も知りたくなります。保育時間や保育料に違いがあるだろうか？また一時保育や病気のときの保育は充実しているだろうか？あるいは日常生活において通園バスや給食はあるだろうか？などなど、選択の基準は各人さまざまです。

私立の保育所・幼稚園の情報はミニコミ誌などの特集や冊子でも見かけますが、公立施設の説明や一覧表はこれまで見かけたことがありません。利用者にとってはまず統一的一覧表で確認する、あるいは近隣施設を比較検討したうえで個々の詳細情報を入手する、という手順が最も便利です。そのために県下全域にある、主に公立保育施設の一覧表を作り、「参画ネットなら」のホームページに載せようと企画しました。

奈良県では従来、人口が多く観光客はじめ買い物客や通勤通学などで人の往来が盛んな北部地域と、一方森林地域が多く過疎化が進んでいる南部地域、その中間に位置する中部地域と、大きく三つに分けて地域的な特徴があることや、社会的意識の違いなどが指摘されています。

子育て支援に関しても、人口の多少は若い世代人口や子どもの数の多少とともに、当然ながら予算にも連動しています。子どもの多いところでは支援策や選択肢も多様になり、少ないところでは子育てで以前の問題、たとえば若い世代の就業や定住などから考慮する必要が生まれてきます。

こうした地域性やばらつきは、保育の現状や子育て支援策になにか影響を与えているのでしょうか？各地域における住民の現実的なニーズはなにか、また最も必要な支援は誰にどんなこと

をすればよいのでしょうか。それらを知るためには、まず現状を知ることが必要です。これら2つを大きな目的として、全県下における状況調査を開始しました。

2、方法と経緯

調査方法と経過を時系列に沿って説明します。

① 2007年3-4月

調査の対象は国立を除く市町村立の保育施設とし、該当施設がない市町村では私立を（私）と表記して掲載します。なお「病児保育・病後児保育施設」と「認可外保育施設」では私立施設を掲載しています。

県下39市町村の担当課にあらかじめ質問紙を送り、記入後に予約をとって面談インタビューを実施することに決定しました。

②2007年5月

質問紙「子育て支援調査票」と「調査依頼状」を39市町村の担当課長宛に郵送しました。当初の大きな調査項目は以下のとおりです。

- §1、保育園
- §2、幼稚園
- §3、子育て支援（金銭面）
- §4、子育て支援（サークル支援、ファミリーサポートなど）
- §5、学童保育（学童クラブ・児童館）
- §6、家庭保育
- §7、病後児保育
- §8、病児保育

③2007年6月

面談予約が取れた市町村から、いよいよインタビュー調査が始まりました。メンバーは2人以上としましたが、5人の大団体になったところもありました。訪問調査ができず、質問紙のみの回答になったのは、広陵町・斑鳩町・山添村です。

④ 2007年6-7月

実際にインタビューするうちに、特に政府が進める「子育て支援事業分野」において変化や進展が目立ちました。厚生労働省のHPでは「子育て支援」のなかに「つどいの広場」「子育て支援センター事業」「ファミリーサポート事業」「放課後児童健全育成等」の項目が並んでいます。当初の項目では足りないところもあり、新たに全体の構成を見直し訂正・追加しました。最終的な項目は以下のとおりです。

項目の訂正・追加により、すでに実施した市町村では面談による聞き取り調査ができなかった項目が発生しましたが、各市町村への問い合わせやHPなどで確認しました。なお「学童保育」については、正式には「放課後児童クラブ」ですが、良く使われる通称を採用しました。

- §1、数値データ(人口、年少人口率、就学前人口、待機児童数)
- §2、保育園(保育園数、対象年齢、保育時間延長保育時間、モデルケースを想定した保育料、通園バス、一時保育、休日保育、特定保育、特記事項、問い合わせ)
- §3、幼稚園(幼稚園数、対象年齢、保育時間、保育料、通園バス、預かり保育、特記事項、問い合わせ)
- §4、子育て支援(金銭的支援、地域子育て支援センター名称他、相談事業、つどいの広場、ファミリーサポート、ショートステイ、トワイライトステイ、サークル支援内容他、特記事項)
- §5、病児保育(施設名、開設日、対象年齢、受け入れ人数、保育料、施設形態)
- §5、病後児保育(施設名、開設日、対象年齢、受け入れ人数、保育料、施設形態)
- §6、学童保育(学童クラブ数、形態、対象児童、保育時間、土曜日開室、長期休暇中開室、保育料)
- §7、児童館(児童館数、対象児童)

⑤2007年6-8月

調査が終了したところから、聞き取った調査票のデータを担当者同士でチェックし合って記入し、調査票・資料などを取りまとめました。

⑥2007年8月

一番遠い南部の十津川村、野迫川村、上北山村、下北山村4村へは、メンバー5名が車2台に分乗して「十津川温泉1泊ツアー」を実施しました。ついに39市町村の現地調査が終了しました!

⑦2007年9月

「参画ネットなら」のHPに掲載するために、ウェブ用一覧表のフォーマットを作成しました。調査票のデータをウェブ用一覧表に転載するには細心の注意が必要でしたが、何度確認してもそのたびにミスが見つかります。ウェブ用、冊子用ともにミスや訂正部分があればご指摘ください。

⑧2007年10月

ウェブ用一覧表が一応の完成を見たので、各市町村に「掲載依頼状」「掲載する形での当該データ」を郵送・メール・FAXで送り再度のチェックをお願いしました。

⑨2007年11-12月

市町村からの返事が返ってきましたが、非常に協力的な自治体がある一方で、「掲載不可」などの項目が出たところもありました。(調査結果を参照)

⑩2008年2月

「奈良県地域保健福祉活動振興事業補助金」の内定が出ました。全県的な調査の結果をHPに掲載するとともに、冊子に編集することで、利用者には情報入手の選択肢が増えると考えました。本格的に冊子製作に取り組み始めました。

⑪2008年2-3月

本誌の《データ編》は、「参画ネットなら」HPに掲載の一覧表データを、各市町村別に冊子用に編集したものです。なお「病児保育・病後児保育実施市町村」と「認可外保育施設」については、各市町村間でのばらつきが大きいいため別表としました。(石原淑子)